

# 専修大学法学研究所平成 23 (2011) 年度活動報告

## 1. 運営活動

### (1) 所員総会の開催

平成 23 (2011) 年 6 月 28 日(火) 14:00 ~ 14:45 神田校舎 1 号館 8A 会議室

(出席者 20 名 委任状 16 枚)

議題: 1) 平成 22 (2010) 年度事業報告・収支決算について

2) 平成 23 (2011) 年度法学研究所事業計画・予算について

3) 新所員の委嘱について

4) 役員人事について

5) その他

### (2) 運営委員会の開催

平成 23 (2011) 年 5 月 10 日(火) 12:20 ~ 14:40 神田校舎 1 号館 法学研究所

(出席者 6 名)

議題: 1) 平成 22 (2010) 年度事業報告・収支決算について

2) 平成 23 (2011) 年度事業計画・収支予算について

3) 平成 23 (2011) 年度シンポジウム研究会の開催について

4) 平成 23 (2011) 年度図書刊行予定について

5) 運営委員・事務局長の選出

6) その他

平成 23 (2011) 年 5 月 31 日(火) 12:00 ~ 13:00 神田校舎 1 号館 8C 会議室

(出席者 6 名) 今村法律研究室と合同

議題: 1) 今村法律研究室と法学研究所の関係について

2) その他

平成 23 (2011) 年 6 月 14 日(火) 12:20 ~ 13:00 神田校舎 1 号館法学研究所

(出席者 8 名)

議題: 1) 自己点検について

- 2) 運営体制について
- 3) 総会について
- 4) その他

平成 23 (2011) 年 11 月 1 日(火) 12:15 ~ 13:05 神田校舎 1 号館法学研究所  
(出席者 8 名)

- 議題：1) 平成 24 年度予算要求について
- 2) 平成 24 年度事業計画について
  - 3) 平成 24 年度アルバイト採用計画について
  - 4) その他

## 2. 研究会活動

### (1) シンポジウムの開催

平成 23 (2011) 年 7 月 23 日(土) 13:00 ~ 17:00 神田校舎 1 号館 13A 会議室  
(21 名参加)

全体テーマ：米国政治の新方向

テーマ 1：米国のリパタリアニズム

報告者：菅野 淳(臨床政治研究所 主任研究員)

テーマ 2：ティーパーティー運動の光と影

報告者：末次俊之(専修大学法学部 非常勤講師)

テーマ 3：2012 年大統領選の展望

報告者：浅野一弘(札幌大学法学部 教授)

司会者：藤本一美

備考：臨床政治研究会との共催

平成 23 (2011) 年 10 月 1 日(土) 13:30 ~ 17:00 神田校舎 7 号館 731 教室  
(約 100 名参加)

全体テーマ：脱原発と再生可能エネルギーへのエネルギーシフトを考える

パネリスト：河野太郎(衆議院、自民党) 阿部知子(衆議院、社民党)

小島敏郎(青山学院大学) 竹村英明(環境エネルギー政策研究所顧問)

司会者：朝日健太郎(NPO運営委員会) 内藤光博、古川 純

備考：NPO現代の理論・社会フォーラム・専修大学社会科学研究所と共催

平成 23 (2011) 年 11 月 29 日(火) 18:00 ~ 20:00 神田校舎 6 号館国際会議室

(約 39 名参加)

全体のテーマ：ドイツでは、なぜ脱原発の決定にいたったのか？

テーマ 1：ドイツでは、なぜ脱原発の決定にいたったのか？

報告者：ゲルト・ウィンター(ブレーメン大学教授)

テーマ 2：脱原発経済——ドイツの経験から何を学ぶか

報告者：糊沢能生(早稲田大学教授)

テーマ 3：日本の脱原発問題を考える

報告者：広渡清吾

備考：専修大学社会科学研究所・今村法律研究室との共催

平成 24 (2012) 年 1 月 21 日(土) 13:00 ~ 18:00 神田校舎 1 号館 302 教室

(約 65 名参加)

全体のテーマ：性暴力の実態を踏まえ今後の日本の性犯罪規定のあり方を展望する

～アカデミーと市民とのコラボ～

基調講演：今後の日本の性犯罪規定のあり方を展望する

報告者：岩井宜子

テーマ：性犯罪規定のあり方

報告者：宮園久栄(東洋学園大学人文学部教授)

テーマ：性犯罪の非親告罪化

報告者：柴田 守(首都大学東京法科大学院助教)

テーマ：子どもに対する性的虐待罪の創設について

報告者：安部哲夫(独協大学法学部教授)

テーマ：サバイバーからの提言——自らの性的虐待被害をふまえて

報告者：長嶋明子(性暴力被害者に基本法を。ひとびとコラボ 21)

テーマ：ジェンダー支配と性暴力

報告者：辻 雄作(性暴力被害者に基本法を。ひとびとコラボ 21)

総合司会者：柳本祐加子(中京大学法科大学院教授)

備考：今村法律研究室との共催

(2) 法学ワークショップの開催

平成 23 (2011) 年 5 月 21 日(土) 14:30 ~ 17:00 神田校舎 1 号館 13A 会議室  
(35 名参加)

テーマ：正義とは何か——地震・津波・原発事故について考える

報告者：小林正弥(千葉大学教授)

司会者：古川 純

備考：NPO 現代の理論・社会フォーラムとの共催

平成 23 (2011) 年 5 月 27 日(金) 18:00 ~ 19:10 神田校舎 7 号館 731 教室  
(110 名参加)

テーマ：「Heureux qui a appris le francais... Le cas d'un concitutionnaliste extra-occidental」  
(幸いなるかな、フランス語を学びし者——西洋の外にいるひとりの憲法  
学者の場合)

報告者：樋口陽一(日本学士院会員)

司会者：根岸徹郎

備考：日本フランス語教育学会との共催

平成 23 (2011) 年 6 月 25 日(土) 14:00 ~ 17:00 神田校舎 7 号館 774 教室  
(10 名参加)

テーマ：歴史に学ぶ、放射能被害——福島原発災害を前にして——

報告者：井上 啓(NPO 法人有害化学物質削減ネットワーク理事)

司会者：古川 純

備考：NPO 現代の理論・社会フォーラムとの共催

(3) 政治学ワークショップの開催

平成 23 (2011) 年 5 月 28 日(土) 14:00 ~ 17:00 神田校舎 1 号館 13A 会議室  
(17 名参加)

テーマ：国の行政機関への内部統制制度導入に関する一考察～「事後検証機関」型  
不祥事対策の限界と内部統制制度の可能性

報告者：高野恵亮(嘉悦大学)

司会者：藤本一美

備考：臨床政治研究会との共催

平成 23 (2011) 年 7 月 19 日(火) 17:00 ~ 19:30 神田校舎 1 号館 7A 会議室  
(15 名参加)

テーマ：今後原子力発電をどうするのか

報告者：伊藤隆彦(中部電力顧問、元副社長、浜岡原発所長)

司会者：広瀬崇子

平成 23 (2011) 年 10 月 22 日(土) 14:00 ~ 17:00 神田校舎 1 号館 13A 会議室  
(17 名参加)

テーマ：自殺対策基本法の制定過程～「市民」立法の観点から

報告者：勝田美穂(岐阜経済大学)

司会者：藤本一美

備考：臨床政治研究会との共催

平成 23 (2011) 年 12 月 17 日(土) 14:00 ~ 17:00 神田校舎 7 号館 772 会議室  
室

(18 名参加)

合評会：岩切博人著「W・リップマンと 20 世紀国際政治——哲人ジャーナリスト  
が見たアメリカ外交」(志学社、2011 年 8 月)

報告者：岩切博人(日本臨床研究所・主席研究員)

討論者：宮脇岑生(元国立国会図書館副館長・前流通経済大学法学部教授)

討論者：末次俊之(本学非常勤講師)

司会者：藤本一美

備考：臨床政治研究会との共催

平成 24 (2012) 年 1 月 21 日(土) 14:00 ~ 17:00 神田校舎 1 号館 13A 会議室  
(21 名参加)

テーマ：「小沢一郎論——現代政治の光と影」

報告者：丹沢文生(拓殖大学海外研究所)

司会者：藤本一美

備考：臨床政治研究会との共催

#### (4) 合宿研究会の開催

平成 24 (2012) 年 2 月 23 日(木) ~ 24 日(金) 鎌倉 あじさい荘

(21名参加)

テーマ1：告知義務の質問応答義務化と沈黙による詐欺

報告者：伊藤雄司

テーマ2：法壇と教壇

報告者：小出鯨一

テーマ3：死因調査制度について

報告者：岩井宜子

(5) 退職教員を囲む会の開催（今村法律研究室との共催）

平成23(2011)年12月6日(火) 15:00～17:00 神田校舎1号館8A会議室

(22名参加)

テーマ：離縁状八題——研究を振り返りつつ

報告者：高木 侃

司会者：木幡文徳

平成24(2012)年1月10日(火) 15:00～17:00 神田校舎1号館8A会議室

(20名参加)

テーマ：研究生活を振り返って

報告者：高橋清徳

司会者：内藤光博

平成24(2012)年1月17日(火) 15:00～17:15 神田校舎1号館8A会議室

(19名参加)

テーマ：スポーツ科学とその応用——スピードスケートを中心に——

報告者：前嶋 孝

司会者：内藤光博

### 3. 刊行活動

(1) 法学研究所紀要の刊行

紀要第37号『政治学の諸問題』平成24(2012)年3月10日(土) 600部発行

特集 原発をめぐる政治と法

・第1部 論考

藤田由紀子「原子力と食品の安全」～行政組織の独立性・専門性・セクショナリズム

伊藤 武「イタリアにおける原発問題」～「脱原発」国民投票の歴史的位相と課題  
広瀬崇子「インダの原子力政策」～福島後の原子力発電の推進

藤本一美・末次俊之「東日本大震災後の日米関係と『米連邦緊急事態管理庁』」

・第2部 シンポジウム

基調講演：「ドイツにおける核エネルギーからの脱却 その法的諸問題」

ゲルト・ヴィンター 糊澤能生(訳)

コメント：「日本の『脱原発』について考える」 広渡清吾

補足資料：「シンポジウム『ドイツでは、なぜ脱原発の決定にいたったのか?』  
の開催を終えて」 白藤博行

(2) 法学研究所所報の刊行

所報第43号 平成23(2011)年12月10日(金) 600部発行

所収論攷

新山雄三「近代社会・人・株式会社・そして法——研究生活を振り返って」

高橋清徳「〔翻訳〕Ch.プティ＝デュタイ『フランス中世都市における誓約団体 コ  
ミューン』( )」

末次俊之「研究結果とその評価」藤本一美編著「ウォー・ポリティクス『政治的危  
機と指導者の群像』(志学社2011年)

所報第44号 平成24(2012)年3月10日(土) 600部発行

所収論攷

庭山英雄「裁判員制度の政治学」

滝沢 誠「三井誠・河原俊也・上野友慈・岡慎一編『別冊法学セミナー 207』新  
基本法コンメンタール刑事訴訟法」

古川 純「法学教育・法曹養成教育・法学研究者養成の『三位一体』構造の課題と  
展望」

広渡清吾『知的再生産構造の基盤変動 法科大学院・大学・学術コミュニティの行  
方』

高橋清徳「〔翻訳〕Ch.プティ＝デュタイ『フランス中世都市における誓約団体 コ

ミュージック ( )」

4. その他

従来からの「法律判例文献情報」を継続購入したほか、DVD等を購入した。